

令和6年度平塚市イクボスプロジェクト講演会について 視聴アンケート結果

◆実施概要

日時：令和6年11月8日（金）9時～12月6日（金）17時

場所：オンラインによる動画配信

（テーマ）「仕事と育児・介護の両立支援～明日から仕事を見直すチャンス！～」

（講師）セントワークス株式会社

ワーク・ライフバランスコンサルタント 一之瀬 幸生 氏

（講演内容）

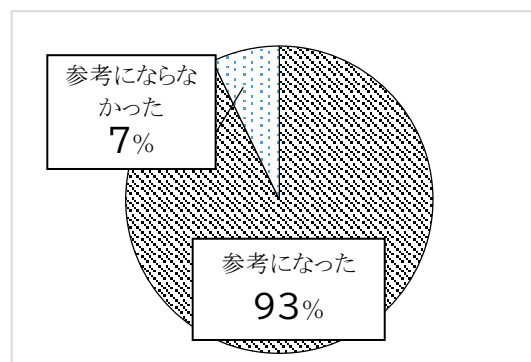
- 1 仕事と育児・介護の両立支援の必要性や多様な人材活躍が求められる背景、育児・介護休業法の改正、中小企業でも実践できる具体の取組、仕事と育児・介護の両立支援に向けたアドバイスについて講演いただいた。
- 2 イクボス宣言企業登録制度の紹介
- 3 イクボスプロジェクトの実施に賛同いただいたイクボス宣言登録企業名の紹介

◆事前申込者数 65人 ◆視聴回数 138回

◆アンケート結果（n=14）

1 講演の内容はいかがでしたか

回答項目	件数	割合
参考になった	13	93%
参考にならなかった	1	7%
もっと詳しく聞きたかった	0	0%



2 上記で選んだ項目について、どのような点か教えてください。

【「参考になった」と回答した方】

- ・男性育休を取得することは、取得者の経験値をアップにつながり、職場としても人材育成や研修にも通じるものがあり企業の成長につながることを。
男性育休、介護休暇が取得しやすいよう上司から情報提供していくことで取得の相談がしやすくなる。令和7年4月からの法改正の情報。
- ・男性育休の必要性が理解できました。
- ・介護休業をとったときの1日の流れなどについて理解できました。
育児休業については対象者があまりいないため、介護休業等の取得促進をテーマにさせていただくと参考になります。
- ・実例を踏まえて講義されていたことから、より育休等の必要性を感じた。
- ・育児介護休業法の次年度の法改正の概要は参考になりました。
- ・イクボス推進のためには、管理職として職員の育児や介護負担等の状況について、把握していく必要を再認識した。講師自ら第2子の育児について、家庭内だけでなく、職場としてのメリットを語られていたが、特別なことではない。介護を含めると、多くの職員にも起こりうる可能性がある。日ごろから、職場内での会話に育児や介護のことが話せる雰囲気づくりも大事ではないかと感じた。
- ・出産後の女性の身体の状態など、男性ではわからないことを知ることができた。

また、男性育休の職場のメリットを理解できたし、取得の取り組み方法（実態調査→課題把握→施策検討・実施）は、他の業務の進め方にも応用できると思いました。

- ・組織として、仕事と育児、介護などワークライフバランスを常に考えていく必要があること、自分自身も社会経済状況の変化に対応していく必要があることを再確認しました。

【「参考にならなかった」と回答した方】

- ・男性の育児休暇のセミナーは取得の必要性や意義の説明ばかりで、中小企業の事務レベルの進め方や処理方法、各種申請方法が説明されるものが皆無である。

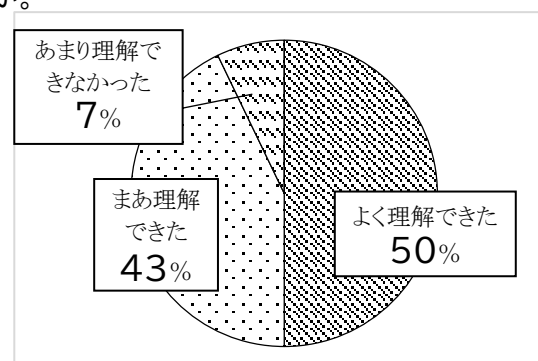
そのフローがよくわからないので、実際には従業員に取得を勧めにくいし、会社としても説明ができない。毎年毎年法律改正が煩雑すぎて労務や人事の担当部署などない中小企業は進めにくい現状です。

最終的には有給休暇を取得した方が給与が 100 パーセント支給され、従業員にとっても会社にとってもメリットが大きい。

男性の育児休暇については、企業の給与の締め日や支給日との関係や社会保険の関係などもかかわって複雑すぎるために、社会保険労務士の先生も、顧問先以外の依頼は断っているとのことでした。

3 男性育休や仕事と介護の両立支援について、理解できましたか。

回答項目	件数	割合
よく理解できた	7	50%
まあ理解できた	6	43%
あまり理解できなかった	1	7%
理解できなかった	0	0%

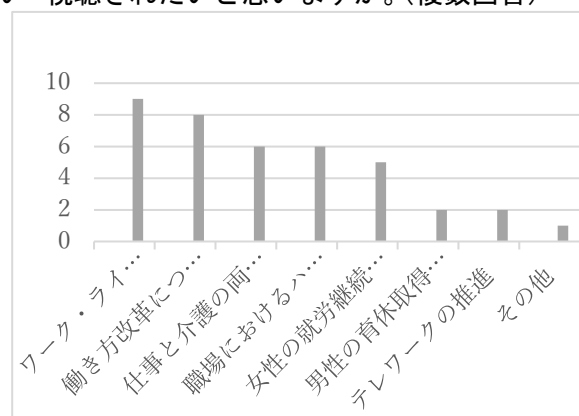


4 講師への疑問・質問

- ・他の会社で行っていたという、従業員アンケートの具体的な内容を知りたかったです。
- ・両立支援金などの申請方法
- ・職員個人としてや管理職としての仕事と介護の両立支援は十分学べました。企業や法人等として、イクボスの推進が企業イメージのアップや働きやすい環境づくりだけでなく、どのようなメリットがあるのかが広がれば、もっと進むのではないかと感じました。
- ・育休や仕事と介護の両立支援について大変わかりやすく、講義していただきました。また企業の進んだ見直し、新たな方向などもあり、参考になりました。

5 今後、どのようなテーマであれば講演会等に参加されたい・視聴されたいと思いますか。（複数回答）

回答項目	件数	割合
ワーク・ライフ・バランスの実現	9	64%
働き方改革につながる ICT 活用	8	57%
仕事と介護の両立支援	6	43%
職場におけるハラスメント対策	6	43%
女性の就労継続やキャリアアップ	5	36%
男性の育休取得の促進	2	14%
テレワークの推進	2	14%
その他	1	7%

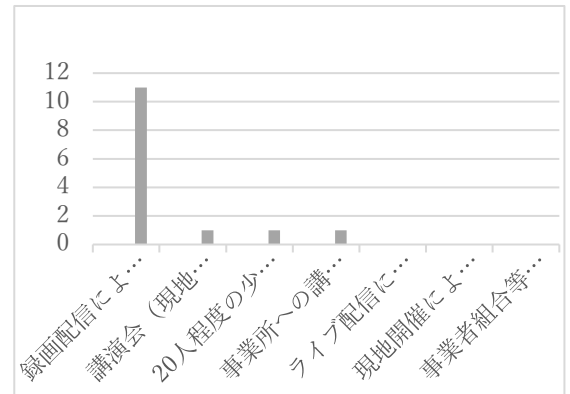


【「その他」と回答した方】

- ・従業員の育児休暇時の事務処理や給与計算の仕方（休み始めた日と給与の締めと発生する社会保険等の計算方法）、社会保険他関係各所への会社からの申請の仕方等の説明会）

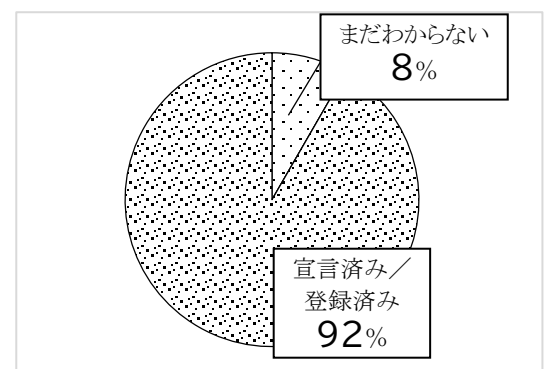
6 どのような開催方法が参加しやすいですか。

回答項目	件数	割合
録画配信による講演会	11	79%
講演会（現地参加・オンライン併用方式）	1	7%
20人程度の少人数セミナー	1	7%
事業所への講師派遣	1	7%
ライブ配信による講演会	0	0%
現地開催による講演会	0	0%
事業者組合等と共催し、研修に位置付けての実施	0	0%



7 講演動画を視聴して、『イクボス宣言をしてみよう』、『登録制度に参加してみよう』と思われましたか。（n = 12）

回答項目	件数	割合
してみようと思う	0	0%
まだわからない	1	8%
しないと思う	0	0%
宣言済み／登録済み	11	92%



以上